

2020年 新年

MERC チームの活動 ～院外施設への出張 BLS 講習会～

MERC (Matsuyama Emergency Resuscitation course liaison Conference)



救急看護認定看護師 外来(中央処置室・ER)主任 富岡久美子

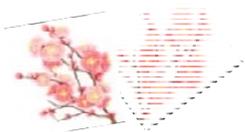
当院には MERC という医師・看護師・臨床工学技士・検査技師からなるチームがあります。主なチーム活動は、救命講習の開催や急変対応に関する様々な調整を行っています。

2017 年からは年に数回、院外から依頼を受け、ICLS 認定インストラクター数名と施設・病院・公民館などへ訪問し、一次救命処置(以下 BLS)講習を行っています。発見者の迅速な対応により、心停止患者の救命やその後の社会復帰に大きく貢献すると言われる BLS の普及活動を通して、地域に貢献できることにやりがいを感じています。

今年度は新玉地区防災訓練や「重信 清愛園」や「道後 ゆう」の 3 施設で 5 回に渡って開催となり

ました。各施設 30 名前後の参加がありますが、講習会の開催を通して地域の方々との顔が見える関係へと繋がり、情報交換を双方向で出来ることが、ともに成長できる機会だと考えております。

今後も病院到着時の患者さんへの対応に限らず、病院前からの関わりが持てるように活動していきたいと思っておりますので、お気軽にご要望ください。



「Men in Nursing」

6S病棟 主任 池田 峻佑



男性看護師は年々増加しており、当院でも 2005 年の採用に始まり、現在では 21 名の男性看護師が手術センターや内視鏡センター、病棟などに配属されています。

当初、サークル活動として始まった「男子会」でしたが、今年度、「患者さんのためになること」を模索し、行動目標を明確にした看護部の委員会として発足するに至りました。

看護師＝女性というイメージもありますが、患者さんや家族の方を支える医療従事者として、男女の性差はなく協力し取り組むことが不可欠です。

男性看護師だからこそ求められる人材として、

どう行動すれば良いか「男子会」で話し合い、共有することに努め、日々の看護実践を通して患者さんや家族と向き合っています。

まだ活動し始めたばかりですが、この活動を院内に留めることなく、今後は他施設とも連携を図り、男性看護師としての活動の場を広げ、連携の確立を目指してまいります。

